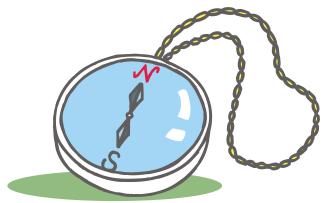


羅針盤

第 9 号

令和3年(2021年)6月7日(月)



◆ 努力できることが才能なら

3年生の皆さん、先週末の6月4日（金）に第1回実力テストを終えたところです。テストに向けて、熱心に勉強を積み重ねた人がたくさんいたことと思います。結果を求めて努力することは、とても大切なことです。人は目標に向かって、一生懸命に努力するものです。しかしながら、努力したことが必ずしも結果と結びつかないことがあることも事実です。誰もが努力を積み重ねては、挫折を感じとて、心が折れてしまいそうになることもあります。たとえ自分自身が望んでいた結果と違ったとしても、一生懸命に努力した結果として得たものは、今の自分にとってのベストであって、努力した甲斐がなかった訳ではありません。人間の価値というものは目標としていたことを成し得たから高まるというものではなく、目標に向け如何に努力を積み重ねたかであると思います。すぐには結果を得ることが出来なくても、次の目標に向けてのスタートをしっかりと切ることで繋がっていきます。何よりも大切なことは、「精一杯の努力」とそのため取り組んだ「心のコントロール」ではないかと思います。「4367」、この数字は日本のプロ野球だけでなく、アメリカのメジャーリーグでも大活躍し、2019年の3月に惜しまれながらも引退をしたイチロー選手が、日米通算でマークした安打数です。彼がアメリカのメジャーリーグの最多安打記録を更新して、4257安打を記録したときに、「大リーグの選手の中で、僕は決して大きくなれないが、記録を作れた。日本の子どもたちだけでなく、みんなに、自分自身の可能性をつぶしてはいけないと言いたい。大きさや強さに対する憧（あこが）れが大き過ぎて、自身の可能性をつぶしてしまう人が多いが、自分の能力を生かすことで、可能性は広がるのだと思います」というコメントを残しています。彼がこれ程までに偉大な記録を残すことができたのは、日頃の鍛錬を決して怠ることがなかったということであり、夢をもち、可能性を信じて努力する姿があったからこそだと思います。「努力できることが才能なら、僕にはその才能がある」と言い切ったイチロー選手。彼自身が、1本1本を積み重ねた結果として、大リーグの最多安打数という記録を塗り替える結果へと繋がったのです。これまで、「高い志をもち、挑戦し続ける」ことについて繰り返し何度も話をしてきましたが、生徒の皆さんの一人ひとりの誰もが可能性を秘めています。やればできることを信じて、自分自身の可能性を見いだし、前へ前へと進んでもらいたいと考えています。そのためには、まずは何よりも具体的な目標を決めることが大切なことです。自分自身の持てる力を最大限に発揮し、一つひとつの目標をクリアしていくことこそが、大きな結果に繋がっていくことは間違いないありません。皆さんの一人でも多くの人が、「努力できることが才能なら、僕にも、私にも、その才能がある」と言えるようになってもらいたいと思います。勉学に一生懸命に励んでいる人も、部活動に一生懸命頑張っている人も、これから何度もテストや試合が繰り返されていきます。良い結果のときもあれば、悪い結果のときもあります。大切なことは、その結果とともに得た教訓を次に生かしていくことを考え、更なる努力を積み重ねることだと思います。

